

# エスペラント ★

Verda Placo 2016 printempo

みどりのひろば 2016年 春

N-ro 34

Harima Esperanto-Societo (はりまエスペラント会)



foto liverita de s-ino Baba

## 第12回国際交流スプリングフェスティバルに参加

3月5日（土）10時から16時まで

会場はイーグレひめじで行われた。はりまエスペラント会の塚本、中村、大前、馬場、三鍋、多田が参加した。大前さんはお孫さん2人一緒に参加されました。稲田さんは忙しい中を顔を出しにやって来てくれました。午前中は第100回世界大会のビデオ映写で、塚本さんから説明がありました。午後からの会話入門講座は簡単な挨拶を覚えた。



新規3名（子供2名）の参加がありました。3時からタイ・バンコックとスカイプ交流を行った。田中さんとはザメンホフ祭以来の繋がりです。バンコックからはS-ro Warut 学生が対応してくれました。子供たちも元気な声で挨拶をしてくれました。スカイプ時は新規5名（子供2名）が参加しました。 今後も機会あるごとに、スカイプ交流を活用すると良いと思います。（文 多田）



## ネパールの子供たちを迎えて

### 大前知子

本年1月5日にネパールの子供達が大本はりま本苑を訪れました。子供と言っても中学生男女5名と引率で本部の木村先生が来られました。毎年恒例の大本本部での越年エスペラント研修会に参加の為、初めての来日だったそうです。年末、年始の4日間の初級コースの研修を終えて後、観光を兼ねて来苑されました。吉田さんの所に急な連絡が入り、どうお迎えしたらよいか戸惑いましたが何人かにお声掛けをして参加していただき、お茶、お菓子でおもてなしすることが出来ました。最初全員が緊張し固くなっていましたが、幸いにも中村さんのお友達で、ご主人がネパール人だと言う方が娘さんを連れて参加して下さいました。ネパール語での会話も弾み通訳もして下さい和やかな歓(えら)ぎの場となりました。子供たちも徐々に笑顔が見られとても可愛かったです。エスペラントでの自己紹介から始まり、パネルでネパールの学校の紹介を順番にエスペラント語でスピーチされました。ネパール地震の事も話題になり、日本のニュースではあまり取り上げられなかった事に心が痛みました。その後、折り紙、けん玉等ですいぶん盛り上がり、10人余りの人数で数時間のことですが国が違って不思議に打ち解けるものなんだなあと思いました。エスペラント語で繋がるご縁で貴重な体験をさせて頂き有り難かったです。

(ちなみにネパール料理をされているご主人の店に翌日、引率の先生が子供達とランチに行ったそうですがとても美味しかったそうです。それで私も後日2回行きました。満足しました。)

## 私のエスペラント人生

### 出会った外国のエスペランチストたち(その2)

#### 峰 芳隆

前号では、ハンガリーのベンチク (Benczik) のことまで話した。

次に印象に残っている人は、1996年11月に来日した中国の Laulum (李士俊=Li Shijun) である。(右写真) 阪神大震災からまだ10カ月しか経っていない頃で、大阪から自宅まで案内する



途中、神戸を通過した際、電車の窓から震災の傷跡が残る町を食い入るように見ていたのが印象に残っている。自宅での長時間インタビューも、当時編集していた *Riveroj* 誌に掲載した。また、*La Movado* 誌に最近まで10年以上連載した *Vortaro por lernantoj* の原稿は、彼から提供されたものである。その全部の単語には、エスペラントの *ritmo* と *rimo* のある4行詩を添えられているが、その見事さには、感心するばかりであった。彼には2004年北京の世界大会で再会したが、2012年に亡くなった。

この大会は、初めての世界大会で、開会式では、“*La Espero*”を歌いながら、母語の違う色んな国の人たちが、心をつつにいて歌っているということに感動した。

北京では、石成泰 (Shi Chengtai) (写真左端) と胡国柱 (Hu Guozhu) にも会った。この二人は、*Riveroj* 誌の熱心な寄稿者であった。さらに、私の依頼に応じて、エスペラント版エロシェンコ選集第6巻 *Cikatro de amo* (1996年) のために、魯迅全集からエロシェンコ作品4編を重訳してくれた(エロシェンコが北京に滞在中に魯迅のために日本語で著作した作品は、口述筆記の原稿が失われ、魯迅の中国訳しか残っていない)。



北京大会では、スロベニア出身でスウェーデン在住のルイン (Franko Luin) にも初めて会った。彼とは、エスペラントを始めるか始めない頃に文通した相手で、彼も覚えていた。それは、国際文通クラブの会報に載っていた文例を使って切手交換の文通希望を書いたものであった。私と同年齢で、のちにグラフィックデザイナーとして活躍し、エスペランチストのための魅力的なポータルサイトや電子図書の *eLibrejo* などでも作っていたが、北京の翌年、急死した。惜しい人であった。

岩波新書『危険な言語』*La danĝera lingvo* の原著者として知られているドイツのリンズ (Ulrich Lins) との付き合いも長い。彼の推薦で *Fondajo Grabowski* の *stipendio* 選考委員を務めたことがある。これは、ポーランド人の寄付金による作られた基金で、エスペラント文化発展のために、とくに出版に功績がある団体に奨励金を交付するもので、2006

年リトアニア世界大会の閉会式では、その発表を任された。彼は日本女性と結婚して、最近は毎年のように来日している。2013年秋には姫路城を案内したが (VP-12参照), 工事中だったので, 完成後にまた来たいと行っていたが, 今年あたり来るかも知れない。

最後に, **Kribo (Christian Baudé)** のこと。彼とは会ったことがない。フランスのボルドー地方の小さな駅に勤めて, その余暇にエスペラントの雑誌や冊子を作っていた。きっかけは, 50年近く前, *La Juna Penso* というヨーロッパの青年グループのミニコミ雑誌。当時, 「ベトナム平和エスペラントセンター」が出していた広報誌 *Pacon en Vjetnamio* の購読者をヨーロッパで募ってもらうという交換条件で, 日本でその購読の取次ぎをした。次に彼が出した *Laute!* 誌と, 冊子シリーズ *SAT- Brušuroservo* の取次ぎ者としての長い付き合いであった。しかし, 2010年11月, 突然, 病気で入院したため全てやめるという連絡があり, それきり消息が無くなってしまった。会いたいと思っていた人である。

2008年にはドイツのヴォーター (**Michael Woter : VP-1**), 2010年にはイギリスのラブリー (**Ian Rapley : VP-10**) が来宅したが, 彼らのことは, 本誌で報告済み。なお, ラブリーは, その後, 日本エスペラント運動の研究でオックスフォード大学の博士号を得て, ウェールズの大学で日本文化を教えている。昨年夏, 彼が家族 (*edzino kaj filo*) を連れて男鹿島へバカンスに来た際, 姫路港まで迎えに行って再会した。

彼らと再会する機会は, もう無いと思うが, 懐かしい人々である。

---

## 近況報告

前立腺ガンの治療を受け始めて8年半。しかし, 昨年秋には, 抗ガン剤が効かなくなり, 左脚リンパ浮腫のため, 外出が困難になってしまいました。そのため, もっぱらパソコンを使った本作りをしています。今年の堺での関西エスペラント大会の記念出版『エスペラント運動を考える』は編集が終わりました。いま, 『KLEG65年史』という年表を作っています。これは, 15年前に作る予定で中断していた『50年史』を再開して『65年史』とするものです。「65」は中途半端ですが, 「70」は無理ですから, これで妥協してもらうことにしました。これも, 関西大会までに仕上げたいと思っていますが, どうなりますか。(峰芳隆)

## Rakonto pri Ĵejku(5)

Edzo kaj Ĵejku

BABA Tokie

Mia edzo enhospitaliĝis en printempo de lastjaro.

Li estis ekzamenita per “MRI”. Kaj klariĝis ke lia nuka arterio mallarĝiĝas. Li ricevis operacion.

Post tio li pensas, ke fizika ekzerco estas necesa por li.

Kaj ĉiutage li paŝas ĉirkaŭ unu horon kaj 30minutojn por dekmil paŝoj.

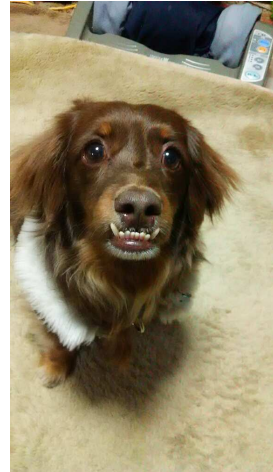
Li ekiras je la 9-a horo kaj 30 minutoj ptm kaj revenas je la 11-a horo ptm.

Tiam, ankaŭ Ĵejku paŝas ĉiam kune.

Kiam mi promenas kun Ĵejku en

tago, li sekvas min malgraŭvole, ĉar li ne ŝatas vidi homon, precipe knabojn. Ĵejku ŝatas paŝi nokte. Ĵejku paŝas vigle antaŭ edzo. Kaj lia paŝado estas malpeza kaj rapida.

Edzo kaj Ĵejku estas en tre bona humoro.



## ごちゃまぜ交流会に参加して

### 馬場祝栄

毎年かこむで開かれている、ごちゃまぜ交流会に初めて参加しました。タイトルを見ただけでも、Kio estas tio?と思うでしょう。これは、かこむ主催で。NPO 関係者、行政、学生、主婦、老若男女、いろいろな人の交流会です。

2月7日(土)塚本さんと一緒に参加しました。2,3人分の軽食又はお菓子持参が参加費です。参加グループ数は30ぐらい?参加人数は100人ぐらいだったと思います。会のリーダーはシミンズシーズと言う若い人たちでした。シミンズシーズとは市民の自立を助ける会ということらしいですが、どんな事をしているのでしょうかね。会場につき受付を済ましてから、持ってきたお菓子を広いテーブルにメッセージカード

に名前とメッセージを書いて置きます。なかなか面白いやり方だと思いました。A5のカードに自分の名前や、所属団体、またまたメッセージを書き首にぶら下げます。これは初対面ながら話しやすかったです。5、6人のグループに分かれてのおしゃべり会ではこの首にぶら下がったカードを見て質問したりされたりして話が弾みました。私が名刺交換した人は、シミズシーズ、東播磨地域防災の会、結婚支援センター、VKC(虐げられてる人達を支援するグループ?)でした。結構エスプラントに興味深々で質問を受けました。期待したいです。

最後に自分たちグループのPRを2、3分で行います。話の途中で時間が来ると容赦なく鐘がなり終了。次々と変わっていくので見てる方はサッパリわかりませんが面白かったです。塚本さんは、エスプラントでエスプラントの説明を述べられました。さすがです。来年はみなさんも参加してみませんか。

### <お知らせ>

#### 加古川の例会場所が変わりました。

兵庫県立東播磨生活創造センター「かこむ」

〒675-8566

加古川市加古川町寺家町天神木97-1

加古川総合庁舎内

TEL:079-421-1136 FAX:079-421-1148

WEB:<http://www.kacom.ws/>

MAIL:[kitene@kacom.ws](mailto:kitene@kacom.ws)

開館時間 月～土曜日 9:00～21:00

日曜・祝日 9:00～17:30

休館日 毎月第3日曜日、年末年始

JR加古川駅南口より徒歩5分

上記の「かこむ」にて-----

#### エスプラント入門講習会を開催します。

日時：4月23日(土)午後1時半～4時

会場：「かこむ」活動室3

講師：塚本 猛

はりまエスプラント会に皆様の参加もよろしく、  
おねがいます。



**学習例会の記録** Kie, kiam, kiuj kunvenis kaj kune lernis?

**<姫路：イーグレ第4会議室>学習例会は午後1時半～4時**

1月28日(木) 中村、三鍋、大前、馬場

2月19日(木) 中村、大前、

3月24日(木) 中村、大前、三鍋、中川、山岸

CDエクスプレスと“Liza kaj Paŭlo”

土曜日の学習はしばらくおやすみ。

**<加古川：生活創造文化センター>学習例会は午後1時～4時**

2月28日(日) 塚本、馬場、多田

作文課題の復習、“Katrina malfruas”, の輪読、訳 k t p

**<Skajpo>学習は毎週水曜日 20時～21時**

1月6, 13, 20, 27日 2月3, 10, 17, 24日

3月9, 16, 23, 30日 4月6, 13, 20日

pri mia semajna okazaĵo k t p

**今後の予定** Kie, kiam ni kunvenos?

★**姫路** (第4木曜日, 午後1時半～4時, イーグレ第4会議室)

4月28日、5月26日、6月23日、7月28日

★**月1回土曜日午後にボランティア室で学習会の予定**

★**加古川** (午後1時～4時, 生活創造文化センター「かこむ」)

4月16日、6月18日

“Turismo en Harima regiono” 作成予定

★**Skajpo** (毎週水曜日 20時～21時)

**編集後記：Felician novjaron!**

春がやってきました。姫路城も花見と観光客で大賑わいです。

加古川の例会も新しく oportuna kaj malkara 会場に変わりました。

Skapooも軌道に乗りましたが、もっと参加者がほしいです。

これから近畿圏で大会が続きます。皆さんの参加を期待いたします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

“Verda Placo” (みどりのひろば) n-ro 34 2016年 4月15日

発行：はりまエスペラント会 Harima Esperanto-Societo

( 671-1222 姫路市網干区宮内 106-3 稲田正昭)

編集：多田龍二 明石市西明石町5-6-2 [trvuji@sky.plala.or.jp](mailto:trvuji@sky.plala.or.jp)



